健康経営宣言

職員が健康で安心して働き続けられる法人を目指して

私たちは、障害福祉・社会福祉の仕事を通じて、一人ひとりの「その人らしい生活」を支えることを大切にしています。そのためには、利用者の皆さまを支える職員自身が、心身ともに健康で、安心して働き続けられる環境が欠かせません。

近年、職員の年齢構成において中高年層が増える一方、福祉の現場では身体的・精神的な負担も少なくありません。また、生活習慣病やメンタルヘルス、長時間労働など、職員の健康を取り巻く課題も多様化しています。私たちは、職員の健康を「個人の問題」として捉えるのではなく、**法人の持続的な運営と、より良い福祉サービスを支える大切な経営基盤**と考えています。

そこで当法人では、職員一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、健康づくりに取り組める職場環境を整えるとともに、法人としても職員の健康を積極的に支援する「健康経営」を推進しています。そして、健康経営への継続的な取り組みを通じて、**「職員が健康で、安心して、長く働き続けられる法人」**を目指します。

2026年10月
社会福祉法人 和
理事長　鍋島 康秀

◆ 健康経営への取り組み

✓ 1. 健康状態の把握と早期対応

定期健康診断・ストレスチェックを継続実施。結果に応じた再検査や専門的支援へつなげ、健康上の不調に早期対応します。

✓ 2. 生活習慣病予防・健康増進

正しい知識の習得と日々の見直しを促進します。

- セミナー開催・健康情報発信
- 運動機会・体組成測定の提供
- 保健指導・喫煙率低下対策

✓ 3. 治療と仕事の両立支援

意向や安全面に配慮し、勤務体制の一時調整など両立を支援。お互いに支え合える孤立させない職場風土を育てます。

◆ 健康経営で目指すもの

職員の働きがいの向上 → **より良い職場環境** → **より良い支援・サービス** → **法人の持続的な発展**

◆ 私たちの目標 & 「健康で働けること」を法人の文化に

- **健診・ストレスチェックによる課題把握**
- **生活習慣病予防と運動機会の充実**
- **メンタルヘルス対策の充実**
- **長時間労働の抑制・環境整備**
- **治療と仕事の両立支援**
- **ヘルスリテラシー向上・喫煙率低下**

具体的な数値目標：**2028年までに、BMIが25を超えている職員を 6人以下 とします。**

健康経営は福利厚生の一つではなく、職員を大切にする法人の姿勢そのものであり、福祉の質を支える取り組みです。当法人は「健康経営優良法人」の認定取得を目指し、職員とともに健康経営を育ててまいります。

健康経営優良法人取得のロードマップ

社会福祉法人 和

課題認識・背景

- 体調、メンタルの不調による急な欠勤、長期間の休職、退職者が散見する状態。
- 施設利用者への日常生活や日中作業のサポートが出来ず、予定変更を余儀なくされる。

▶ **健康優良法人 認定取得のための取り組みを開始**

職員全員に健康診断を実施（費用負担）

職員の健康状態を把握。結果から再診・再検査を促し治療につなげる。メタボ予備軍には保健師による指導を実施。

ストレスチェックを実施（外部依頼）

客観的なチェックを通じて職員のメンタルコンディションを的確に把握・サポート。

運動機会の提供（vitality）

具体的な指標を用いた運動機会を得ることで活動を継続する習慣をつくる。

体調管理向上セミナーを開催

健康維持・体調管理に関する正しい知識を身につけ、健康的な生活を目指す。

体脂肪計を用いた測定会を実施

数値化した結果から達成感を得る。または課題を見直し目標を再設定する。

★ 期待される成果と数値目標（GOAL）

- 体調、メンタルの不調による急な欠勤、長期間の休職が減少。
- 安定した施設運営を維持。
- **2028年までに、BMIが25を超えている職員を６人以下とする。**

★★ 健康優良法人 認定による効果

健康優良法人への認定は、利用者に対する**「選ばれる理由（アドバンテージ）」**となり、求職者に対しては**「働きやすい優良な環境」**を証明することになります。